

日本植物病理学会報 第 67 卷

目 次

会長講演

境界植物病理学の勧めと戒め—植物病害防除のための新戦略の構築に向けて……………日比忠明…………… 57

学会賞受賞者講演

リンゴのウイロイド病に関する研究……………小金澤碩城…………… 61

ビワがんしゅ病の生理・生態に関する研究……………森田 昭…………… 64

ビートえそ性葉脈黄化ウイルスに関する研究……………玉田哲男…………… 67

学術奨励賞受賞者研究要旨

カンキツ緑かび病菌の ABC トランスポーター遺伝子に関する研究……………中畝良二…………… 70

ウイルス遺伝子導入によるウイルス抵抗性の付与とジーンサイレンシングに関する研究……………園田昌司…………… 72

ストロビルリン系殺菌剤メトミノストロビンによるイネいもち病菌のシアン耐性呼吸誘導機構に関する研究……………雪岡日出男…………… 74

総 説

ICTV 7 次報告書における植物ウイルスの分類……………大木 理…………… 3

植物病原細菌分類体系の現状と問題点……………瀧川雄一…………… 76

フザリウム属菌および関連子囊菌類の分類……………青木孝之……………235

原 著

Verticillium biguttatum を用いた *Rhizoctonia solani* によるテンサイ 苗立枯病および根腐病の生物的防除……………佐山 充・本間善久・竹中重仁…………… 12

ナスすずかび病菌の感染・病斑形成過程の組織学的観察……………山口純一郎・稲田 稔・松崎正文・加来久敏…………… 19

数種のイネ種子伝染性病害を対象とした温湯種子消毒……………早坂 剛・石黒清秀・渋谷圭治・生井恒雄…………… 26

カキの果実軟化症の発生原因と防除……………田口義広・渡辺秀樹・秋田 滋・百町満朗…………… 33

補植苗の葉いもち病勢進展過程からみた全般発生開始期の予測……………原澤良栄…………… 87

植物病原細菌の炭素源利用試験に用いる共通基礎培地の検討……………西山幸司・篠原弘亮・門田育生…………… 97

ダイズ白絹病菌の菌糸体プロトプラスト復帰個体に生じた培養特性および病原性の変異……………仲川晃生……………107

岡山県におけるモモ灰星病菌 (*Monilinia fructicola*) の伝染源……………井上幸次・那須英夫・粕山新二……………248

Dothiorella sp. によるブドウ房枯病の症状……………井上幸次・小野俊朗・那須英夫……………254

短 報

インパチェンスネクロティックスポットウイルスによるシネラリアえそ斑紋病……………谷名光治・井上幸次・伊達寛敬・奥田 充・花田 薫・那須英夫・粕山新二…………… 42

メロン黄化えそウイルス (*Melon yellow spot virus*) によるキュウリ (*Cucumis sativus*) の黄化えそ病……………竹内繁治・奥田 充・花田 薫・川田洋一・亀谷満朗…………… 46

病害短信

チョコレートコスモスうどんこ病 (新称) の発生……………有賀麻貴・渡辺京子・佐藤幸生・吉野嶺一……………116

日本のヤマノイモから検出される potyvirus……………藤 晋一・古屋廣光・内藤英樹・夏秋啓子……………261

講演要旨

平成 13 年度日本植物病理学会大会講演要旨……………119

本会記事…………… 52, 223

学会ニュース…………… 第 1, 2, 3 号

第 67 巻総目次…………… 第 3 号

INDEX…………… 第 3 号